

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

ヘブンスそのはら

索道安全報告書(2010年)



夏山シーズン

園原1 2人乗りゴンドラリフト
富士見台第2リフト
富士見台第4リフト



スキーシーズン

園原1 2人乗りゴンドラリフト
富士見台第2リフト
富士見台第3リフト
富士見台第4リフト
富士見台第6リフト
富士見台第7リフト



1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社は、「安全輸送の確保」を企業行動指針の第一として掲げる、ジェイ・マウンテンズ・グループの一員として、ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社の運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解頂くために公表するものです。

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社
代表取締役 宮崎 年喜

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、経営理念の第一を安全確保とし、「安全基本方針」を次のように掲げ、事業に携わる全員に周知徹底を図っております。

- 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共に、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めること。
- 事故、災害等が発生した場合は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

当社の安全目標は、「索道に関する人身障害事故件数及び、設備不具合による運休日数ゼロ」を目標とします。

代表取締役以下従業員が、目標達成に向けて取り組む所存であります。

3. 事故の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成21年度索道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 災害

平成21年度災害による運行に支障が発生することはありませんでした。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成21年度インシデントの発生はありませんでした。

(4)行政指導等

運輸局による安全マネジメント評価及び保安監査がありましたが、安全マネジメント評価については、当社の近隣スキー場救助応援体制、ジェイ・マウンテンズ・グループの内部監査の実施について評価を頂きました。また、保安監査については、書類上の指摘事項がありましたが、早急に改善致しました。

4. 安全輸送のための取組み

(1) 内部監査の実施

平成22年1月13日～14日の二日間にわたり、ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社による、内部監査を行いました。監査結果に基づき、輸送の安全を確保、向上に努めております。

(2) 人材育成

① 各種索道研修会の参加

北陸信越索道協会主催 平成21年度索道技術研修会 (3日間) 2名

日本ケーブル株式会社主催 NCテクニカルセミナー (4日間) 1名

ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社主催

安全統括管理者会議(滋賀県) (2日間) 2名

北陸信越索道協会南信地区部会主催

平成21年度索道技術研修会 (1日間) 2名

北陸信越運輸局主催 索道技術管理者研修会 (2日間) 1名

ライトナー・ホムズ・パシフィック山工業索道技術研修会 (1日間) 3名

ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社主催

第1回JMG索道安全技術委員会(阿智村) (2日間) 3名

北陸信越索道協会南信地区部会主催

平成21年度索道事故防止研修会 (1日間) 4名

② 社内研修会の実施

➤ 12月14日平成21年度ヘブンスそのはら索道研修会

外部講師として、箱館山スキー場副支配人古谷賢次氏、ジェイ・マウンテンズ・グループ索道テクニカルマネージャー斎藤惣三氏、同マネージャー森下進氏をお招きいたしました。

➤ その他朝礼にて、事件事例集等を基に、安全に関する教育を逐次実施いたしました。

(3) 緊急時対応訓練

当社は、夏期シーズンと冬期スキーシーズンの営業前の2回、社内全スタッフが参加し、緊急時を想定した、索道の救助訓練を実施しております。

7月1日の夏期シーズン前のゴンドラ救助訓練は、当社救助班の他、飯田広域消防署の2班が実施しました。また、ゴンドラの救助体制について近隣スキー場との応援協力体制構築を目指し、富士見パノラマリゾート・御岳ロープウェイ・おんたけ2240・高鷲スノーパーク・箱館山スキー場よりご参集頂き、救助応援協力体制構築のための会議を開催致しました。関連団体として阿智村消防団、ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社、日本ケーブル株式会社、株式会社五竜にも参加頂き総勢91人の救助訓練となりました。

12月13日冬期シーズン前のゴンドラ救助訓練も、当社救助班の他、飯田広域消防署の2班が実施し、さらに特殊索道の救助訓練を実施いたしました。

7月と12月の2回の救助訓練については、訓練の様子を新聞社の取材報道がなされました。

① 7月1日救助訓練



当社救助班

飯田広域消防レスキュー隊救助班



7月2日信濃毎日新聞

 ロープウェイ故障を
 想定し合同救助訓練
 【阿智】阿智村智里のスキー場「ヘブンスそのはら」は1日、近隣など県内外5カ所



のスキー場や飯田広域消防など合同で、ロープウェイの故障を想定した救助訓練を同社の「富士見台高原ロープウェイ」で行った。写真。4日からのサマーシーズン営業前

の取り組みで、合同訓練は今回が初めて。
 訓練では関係者約90人が見守る中、同社技術管理員5人が、地上3層ほどで停止したゴンドラから6人を約1時間かけて降ろした。ゴンドラ上部に滑車を設置し、一人ずつ乗せた袋状の救助装備を慎重に地上に下げた。同社の小嶋秀裕支配人は「救助方法や装備は各社で特徴があり、情報交換を進めていきたい」と話していた。

7月3日中日新聞

ロープウェイ事故
 想定して救助訓練
 阿智で飯田消防など
 阿智村智里のスキー場「ヘブンスそのはら」で、夏営業を前にロープウェイ合同救助訓練があった。
 同社でロープウェイを管理する索道課の社員や飯田広域消防本部職員のほか、近隣の五スキー場からも初めて社員が参加。同社のグループ企業が経営する

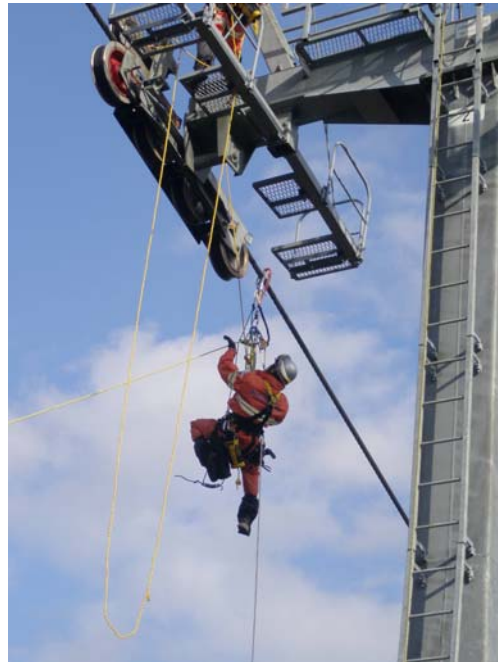
岐阜県と滋賀県の二ツスキー場と、中南信地方でロープウェイがある同社を含む四スキー場が、互いに救助が必要な時には協力し合うこととした。
 訓練は六人の乗客がロープウェイ内に閉じ込められたと想定。社員らがカラビナやロープを使い二つの方法で救出した。
 一つは、現場まで険しい山道を登って救助するケースを想定し

て、スロータンなどの重い機材をなるべく使わない同社独自の手法は四日から九月十三日まで。涼しい高原に、クレオメやルドベキアなどのお花畑が美しく咲き誇っている。(高橋徹志)

女性客をロープウェイから救助するヘブンスそのはら社員ら。阿智村で



② 12月13日救助訓練



この他、近隣スキー場救助強力体制構築のために、箱館山スキー場、おんたけ 2240、御岳ロープウェイ、富士見パノラマリゾートへ救助訓練に参加しました。また、白馬五竜へ新型救助装置の救助訓練に参加し、他社の救助訓練に参加することで自社の救助装置について見直しを行っております。

(4) 安全のための投資と支出

安全の維持、向上のため、下記のとおり修繕維持を実施いたしました。

園原12人乗りゴンドラリフト

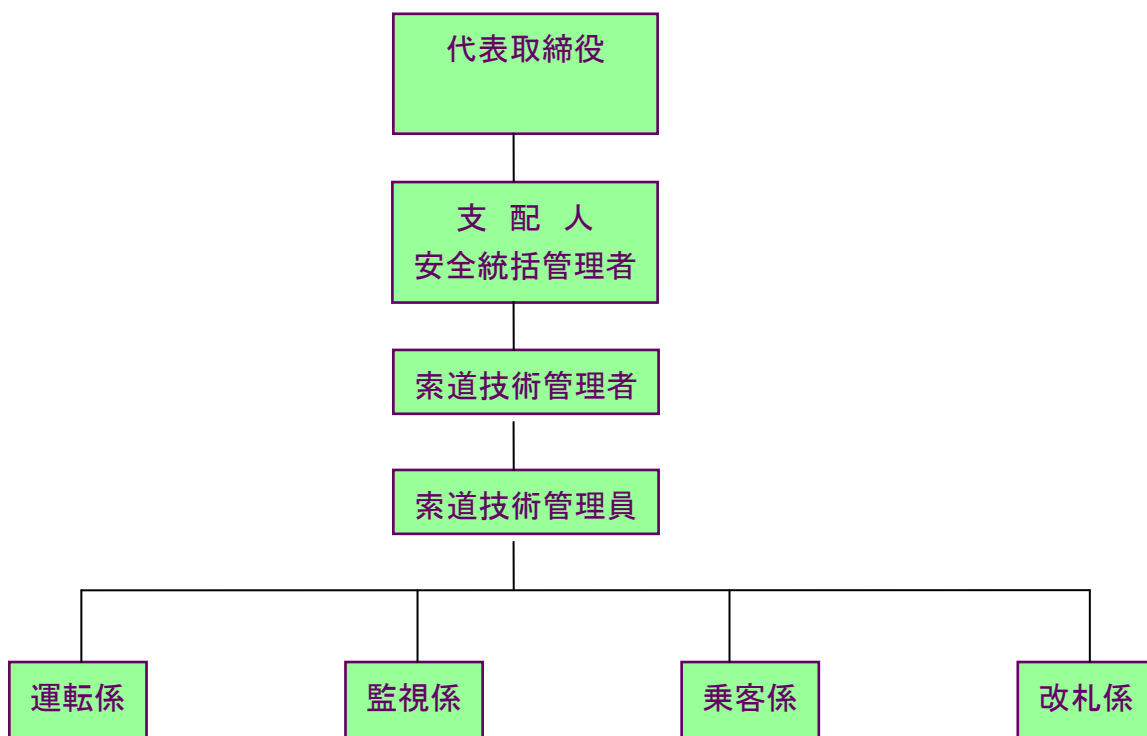
減速機分解整備
緊張シリンダー更新

富士見台第2リフト

減速機分解整備
原動緊張滑車軸組み交換

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理者へ報告し、併せて毎週1回の安全統括管理者含むミーティングを実施し、日々の業務に反映させております。



職種と役割

- | | |
|---------|--|
| 代表取締役 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の業務を補助する。 |

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) ご意見ご感想をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され、安全なサービスが提供できるように役立てます。

(2) 園原12人乗りゴンドラリフト及び各リフトご乗車時の注意事項

お客様の行動は、ゴンドラ及びリフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。各々のご利用の際には、責任と義務が伴います。次のことを守ってください。

園原12人乗りゴンドラリフト

<乗車時>

- ① ゴンドラの乗降に不安のあるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 最大乗車人員は12名となります。繁忙時は相乗りにご協力下さい。
- ③ 危険物の持ち込みは禁止させていただきます。
- ④ ペットは、ゲージに入れて下さい。尚、ゲージレンタル及びペット乗車料金は有料となります。
- ⑤ 客車と乗場ホームの間に、隙間ができます。足や手荷物等を挟まないようご注意ください。
- ⑥ 扉は自動で開閉しますが、足や身の回り品等を挟まないようご注意ください。
- ⑦ 乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙下さい。
- ⑧ 飲酒酩酊等、公の秩序又は善良な風俗に反する行為により、他のお客様にご迷惑をおかけすると判断した場合は、乗車をお断りすることがあります。

<乗車中>

- ① 客車を揺らさないで下さい。
- ② 緊急停止の際は、無線機のスイッチを入れ、お静かにお待ち下さい。
- ③ 出発時及び到着時には、客車が揺れます。転倒等にご注意下さい。

<降車時>

- ① 扉が開くまで、そのままお待ち下さい。

② 順番に降車下さい。降車に不安のあるお客様は、係員に申し出て下さい。

<その他>

係員の指示に従って下さい。

各リフト

<乗車時>

- ① リフト乗降に不安があるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 「すわるいち」でスキーを前に向け、同乗者と並んでお待ち下さい。
- ③ 乗れなかったら、直ぐにリフトから離れて下さい。
- ④ スtock等が同乗のお客様に迷惑にならないようご注意下さい。
- ⑤ リュック、荷物、衣類等のひもにご注意下さい。

<乗車中>

- ① セーフティバーを下ろし、深く腰掛けて下さい。
- ② イスから飛び降りたり、イスを揺らさないで下さい。
- ③ スtock等で柱や雪面等にさわらないで下さい。
- ④ リフトが停止しても、飛び降りないで下さい。
- ⑤ リフト乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙下さい。
- ⑥ リフト乗車中は、身の回り品や物品の落下にご注意下さい。

<降車時>

- ① 「降り場」が近づいたら降りる準備をし、降りた後は真直ぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようにご注意下さい。
- ② 降りられなかったら、そのままイスに座ってお待ち下さい。

<その他>

係員の指示に従って下さい。

7. ご連絡先

安全報告書 へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里 3731-4

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

ヘブンスそのはら

TEL(0265)44-2311 FAX(0265)44-2331

E-mail info@mt-heavens.com